

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

一般質問事項一覧

12月1日（月）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 （第1日）／1日（月）	帰山（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>○ 2026年7月6日に任期が満了する石山大野市長は、初当選からこれまでの2期（約8年間）をどのような思いで大野市政のかじ取りを担ってきたのか。 また、その思いはどのような事業を実施することで、どのように市民に伝わっていると考えているのか。</p> <p>○ 任期満了に伴う次期大野市長選に向けた考えは。</p>

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／ 1日 (月)	笠山 (大野市民の会)	一問一答方式	<p>1 市民生活の「安全」をどう担保するか</p> <hr/> <p>○ 第六次大野市総合計画後期基本計画（案）において、安全安心な暮らしは前提となっているが、連日のクマ出没や人身被害の発生により、その前提が揺らいでいる。</p> <p>　今の鳥獣害対策がフェーズとして限界にきているように感じる。来年度の予算編成において、AI監視システムや緩衝帯の抜本的整備など、ハード・ソフト両面で、これまでの延長線上ではない予算配分を行う必要があると考えるがどうか。</p> <p>○ 本市の豊かな自然環境は財産であるが、今ままではリスクになりかねない。例えば、ドローンやICT技術などをを持つ民間企業と連携し、獣害対策の先進モデル地域として技術実証を誘致するなど、「安全対策」を「新しい産業や技術の呼び水」に変えるような、攻めの姿勢での対策は検討しないのか。</p> <p>○ クマの出没時の対応には相当な大変さがあると想像ができる、特に夜間に発生した場合は、対応時間がさらに長くなり、疲労やストレスの蓄積も大きくなると考えられる。こうした職員の心身のケアについて、どのように取り組んでいるのか。</p>
			<p>2 「公共施設の効率化」と「幸福度(ウェルビーイング)」の両立</p> <hr/> <p>○ うらら館の運営見直しなど、公共施設の効率化は避けられない課題であるが、第六次大野市総合計画後期基本計画（案）で掲げる「ウェルビーイング（市民の幸福）の向上」と矛盾してはいけない。</p> <p>　コスト削減で生じた余力があるならば、例えば高齢者の移動支援や、地域コミュニティ（公民館等）の機能強化へ振り向けるなど、「施設はスリム化しても、市民の居場所や交流の総量は減らさない」という、全体最適の視点を持つことが重要だと考えるが、市の見解は。</p>
			<p>3 孤立する子育てを防ぐプッシュ型支援への転換</p> <hr/> <p>○ 大野市人口ビジョンにおいて出生数の減少が示される中、今いる子どもたちとその親を社会全体で支えることが何よりの定住対策だと考える。</p> <p>　核家族化の進行に伴い、「産後うつ」や育児期の「孤立」が深刻化しており、早期介入の必要性は極めて高いが、支援が最も必要な保護者が申請手続きへの気力や判断力を失うことで、行政支援から最も遠い存在となり得る可能性がある。</p> <p>　このことを踏まえ、相談や申請を待つだけの支援から転換し、例えば、定期的なオムツ等の宅配事業を実施し、配達員や専門職が定期的に赤ちゃんと保護者の顔を見て、安否確認や悩み相談を行うような、見守り機能を兼ね備えた優しいプッシュ型のアウトリーチ事業の導入を検討すべきではないかと考えるが、市の見解は。</p>

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

一般質問 (第1日) ／1日 (月)	笹山 (大野市民の会)	一問一答方式	<h3>4 今後の市政運営</h3> <p>○ 第六次大野市総合計画後期基本計画（案）や大野市人口ビジョンの改訂に当たり、示された将来像は、人口規模こそ縮小しているが、それが「衰退」であってはならないと考える。 現在編成中の来年度予算は、この新しい計画のスタートダッシュとなる重要な予算である。人口が減っても、安全で、互いに支え合い（シェアし）、一人一人の満足度が高い「質的に豊かな大野市」へとモデルチェンジするために、市長はどのような決意を持って、この難局と予算編成に臨んでいくのか。</p>
-----------------------------	----------------	--------	---

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／1日 (月)	梅林 (もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について—具体的にどのような大野市を目指しているのか—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長の立場から「自治」とはどのようなものと考えるか。 ○ 市長にとって、公共財産である公共施設とはどのようなものと考えているか。 ○ 市長は、公共施設と住民自治との関係性についてどのように考えるか。 ○ 本市の健全な水循環について伺う。 (大野市水循環基本計画から) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容「河川維持流量に係る関係者間の情報共有と共通認識化」は、本計画の前期（この5年）間に貯留・涵養機能の維持・向上にどのような成果があったか。 ・「地下水位計測のデジタル化」の具体的な取り組みは。 ・自然災害や事故などで下水管が破損すると住民生活に大きな支障を及ぼすといわれている。本市において下水管にトラブルが発生し、汚水が流せなくなった場合、市としてどのような対策や対応を取り市民生活を守るのか。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／ 1日 (月)	猪嶋 (大野市民の会)	一問一答方式	<p>1 中部縦貫自動車道開通を見据えた施策について</p> <p>令和11年春に予定されている中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通に向けて、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」におけるガソリンスタンドの誘致はどうなっているのか。 ○ 開通を待ち望んでいるのは、本市だけでなく、隣接の郡上市も同様であると思うが、協力体制の有無とその内容について。
			<p>2 指定管理者制度について</p> <p>市と指定管理者との関係について、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市の担当部局と指定管理者との協議頻度はどのくらいか。 ○ 観光などを目的とした主要な施設の指定管理者に何を求めているのか（自主事業を実施する際の目的）。 ○ 外部評価制度の導入時期は。
			<p>3 農業支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 米価が上がっている今こそ、国や県が行き届かないところに支援を行い、持続可能な農業体制を構築すべきと思うが、市の考えは。
			<p>4 六呂師高原の水源調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 六呂師高原の各施設の水源確保のため調査を行ったと聞いているが、調査結果はどうであったか。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 1日 (月)	野村 (無会派)	一括質問・答弁方式	<p>1 文化活動について</p> <p>大野市文化会館は2026年5月31日をもって閉館し、文化会館の新築・増築並びに現文化会館の耐震化・長寿命化は行わないとしているが、次についての見解を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市における地域文化振興の必要性をどのように捉えているのか。 ○ 文化会館がなくなれば、利用してきた市民の文化活動に支障があると思われるが、今後の活動の場をどのように考えているのか。 <p>2 有終南小学校グラウンドの芝生化整備について</p> <p>市ホームページには、「市教育委員会は、『魅力ある学校の実現』に向けた取組みの一つとして、令和6年度に有終南小学校のグラウンドを芝生化し、児童の健康の増進、地域住民のふれあいの場の創出及び地域コミュニティの活性化を目指しています」とある。</p> <p>また、「大野市としても、『魅力あふれる学校の実現』に向けて、芝生を育てる会と連携し、有終南小学校の芝生化整備に協力しています」とも掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グラウンドの芝生化工事において、機械設備工事・電気設備工事は当初の計画を変更して工事が行われ、工事費が増額となったが、その理由及び工事の詳細・費用負担について説明を求める。 <p>3 和泉デイサービスセンター廃止と今後の介護保険サービスについて</p> <p>2026年3月末で社会福祉法人大野市社会福祉協議会が運営する和泉デイサービスセンターが廃止されることとなり、天神デイサービスセンターに統合されると聞いている。今後、本市の介護保険サービスに影響があるのではないかと思うことから、次について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 和泉デイサービスセンターが廃止に至った原因について、市は把握しているのか。 ○ 今回と同様に他の事業所が廃止されることもあり得るが、その場合の市の対応はどのように考えているのか。 ○ 今回の廃止は利用者に対する負担の増大や介護保険サービスの低下になると考えるが、市としてはどのように考えているのか。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日)／1日 (月)	伊東 (市政会)	一括質問・答弁方式	<p>1 リチウムイオン電池等の安全な回収について</p> <p>近年、私たちの生活はスマートフォンやモバイルバッテリー、加熱式たばこ機器、さらにはワイヤレスイヤホンなど、多くの小型電子機器であふれている。これらの機器の多くには、軽量で大容量、繰り返し充電できるという利便性の高いリチウムイオン電池が使用されている。</p> <p>一方で、使用済みとなったリチウムイオン電池やリチウムイオン電池を内蔵する小型機器が適切に分別されず、一般ごみに混ざって廃棄された場合、衝撃や圧力が加わり、発火する事例が全国で多発している。</p> <p>そこで、リチウムイオン電池等の適正な廃棄と回収体制を強化する必要があることから、3点にわたって質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市におけるリチウムイオン電池等の小型充電式電池の現行の回収方法と、その周知の状況は。 ○ 廃棄物処理の過程で発生した火災や事故の状況、その原因分析は。 ○ 火災事故の未然防止に向け、行政による拠点回収の拡充が必要と考えるが、市の見解は。 <p>2 大規模災害時の避難所環境整備と在宅避難への対応について</p> <p>政府は昨年12月に「自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドライン」を改定し、国際的に広く認知されている「人道憲章と人道対応に関する最低基準（スフィア基準）」を初めて明確に取り入れた。スフィア基準とは、災害時に人々が人間としての尊厳を保って生活するための最低基準を定めたもので、避難所に求められる環境整備の指標となっている。特に「トイレの数」「1人当たりの居住スペース」「食事の質と衛生」「プライバシーの確保」といった要素は心身の健康に直結する重要な項目である。</p> <p>また、大規模災害によって避難者が急増した場合、物理的に指定避難所だけでは対応しきれない可能性がある。そのため、国は「高齢者・障がい者など配慮を要する方を優先的に避難所へ誘導すること」、そして「住宅被害が軽微な方には在宅避難を促すこと」という、避難方法の多様化にも言及している。</p> <p>そこで、大規模災害発生時に迅速に対応できるよう、4点にわたって質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市の避難所におけるトイレ基準、入浴施設、1人当たりのスペースの現状が、スフィア基準を含む改定された取組指針等にどの程度適合しているのか。 ○ 在宅避難を行う場合のトイレ対策の啓発については、どのような取り組みを行っているのか。 ○ 避難行動要支援者の避難支援について、本市の現状と課題は。 ○ 在宅避難、福祉避難所への避難の両面で地域との連携が重要になると考えるが、どのように強化していくのか。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

一般質問 (第1日) ／ 1日 (月)	伊東 (市政会)	3 感震ブレーカーの普及促進について
		一括質問・答弁方式
		<p>大規模地震では、本震の揺れそのものではなく、その後に発生する「通電火災」が大きな被害をもたらすことが明らかになっている。阪神・淡路大震災では、火災の約6割が通電火災だったともいわれている。</p> <p>この通電火災を防ぐ有効な対策が、揺れを感じて自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」である。最近では分電盤タイプだけでなく、コンセントに差すだけの簡易タイプも普及しつつある。</p> <p>能登半島地震では、輪島市の大規模火災が全国的な問題となり、国は消防庁の検討会を設け、通電火災対策の強化を大きく打ち出した。そしてその中で、「感震ブレーカーの積極的な普及」が明確に示された。</p> <p>さらに昨年、国は防災基本計画を修正し、「国や自治体は、感震ブレーカーの普及に努めること」が新たに明記された。地方自治体にとっても、本格的に取り組む段階に入ったといえる。</p> <p>そこで、本市の感震ブレーカーの普及促進について、3点にわたって質問する。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 本市に火災延焼の危険性が高い区域の指定はあるのか。もある場合は、区域の選定基準や今後の見直しについても伺う。○ 感震ブレーカーの普及方針を地域防災計画にどのように位置付けていくのか、計画の見直し状況は。○ 市民への普及啓発と、普及率の目標値の設定は。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

一般質問事項一覧

12月2日（火）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 （第2日）／ 2日 （火）	林 （市政会）	一問一答方式	<p>1 安心して子育てできる教育環境の改善に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市小中学校再編計画に基づき、令和8年3月末で再編される小山小学校、阪谷小学校における取り組み状況は。 ○ 公共施設再編は市民サービスの低下を招かないよう配慮を求めていた中、和泉児童センターを除く四つの児童センターを「他施設への機能移転」とする理由と、スポーツ少年団や団体等に利用を認めていた旧上庄中学校を令和8年度から許可しない方針とした理由は。 ○ 第六次大野市総合計画後期基本計画（案）の策定に合わせて実施した中・高生アンケート結果の受け止めは。 ○ 国が進める学校給食の無償化を巡る議論で懸念していることはないか。 <p>2 市民生活を支える産業の振興と投資促進に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 越前おおのブランドを生かして市内事業者の「稼ぐ力」向上させていく必要があるとして、市は令和4年2月に越前おおの産業ブランド力向上戦略を策定して取り組んできたが、市内事業者の「稼ぐ力」の現状をどう認識しているのか。 ○ 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（重点支援地方交付金）が拡充される方針だが、今後の対策は。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／ 2日 (火)	木戸屋 (もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<p>1 市役所の組織経営について</p> <p>地方自治法第147条では「普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体を統轄し、これを代表する」とあり、第148条では「普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体の事務を管理し及びこれを執行する」とある。</p> <p>事務の管理及び執行権としては、議会への条例案などの議案の提出、予算の調整と執行、地方税の賦課徴収、会計の監督、公の施設の設置・管理・廃止などその他多数あり、多岐にわたっている。</p> <p>さらに第154条では「普通地方公共団体の長は、その補助機関である職員を指揮監督する」とある。実務的な事務は市役所職員が行うが、それを正確、かつ効率的に効果的に市民に対し実行されるかを指揮監督することが、市長に求められる能力である。現職員の個々のやる気を高め、能力を最大限に引き出し、組織力を向上させる方法や気運の醸成などに向けて、状況の把握、指示、命令、声掛けなど、日々あらゆる努力を積み重ねていることと推察する。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長は、職員の組織力を向上させるために、これまでどのような点に重点を置いて推し進めてきたのか。 ○ 持続可能な質の高い市役所職員集団を維持するために、今後どのようなことに気を付けていくのか。 <p>2 公の施設の管理運営について</p> <p>国の方針では、各自治体の財政状況が厳しさを増す中で、公の施設の整備、維持管理、運営の各段階において、民間事業者が有するノウハウを最大限に活用することが大切であるとされ、法整備もされてきた。</p> <p>通常の単年度の委託契約のほかに、長期継続契約、包括委託契約、指定管理者制度、公共施設等運営権制度(PFI法)などがある。それらの制度を適材適所に駆使することにより、多様化する住民ニーズに、効果的、効率的に対応していくことを目指している。</p> <p>本市においても、幾つかの制度を活用し、民間事業者の経営的能力や技術的能力を活用する方式を採用して、公の施設の管理運営を効率的、効果的に行おうとしている事例がある。また逆に、市が直営で行う方式によって成果を上げようとしている事例もある。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市において、公の施設の管理運営に関する方式は、どのような方針で決定し、その評価と成果の分析はどのように行っているのか。幾つかの事例を挙げての説明を求める。 ○ 指定管理者制度の利点とリスクは何か。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

一般質問 (第2日) ／ 2日 (火)	木戸屋 (もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<h3>3 ふるさと納税について</h3> <p>今定例会に提出された補正予算案で、ふるさと納税推進事業に1,729万2,000円が計上されている。年度当初の寄付見込み額より増加が予想されるということで、補正予算に計上するとの説明があった。</p> <p>ここ数年、本市のふるさと納税の寄付額が増加しており、その寄付が本市の施策に投入されていることは喜ばしいことである。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none">○ ふるさと納税の寄付額が増えてきた要因と今後さらに増やすための課題は何か。○ ここ5年間のふるさと納税寄付額の合計額とポータルサイトなどに係るふるさと納税の経費を引いた額は幾らか。その主な使途は何か。
---------------------------------	---------------	-----------	---

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／ 2日 (火)	岸本 (大野市民の会)	一括質問・答弁方式	<p>1 観光客の宿泊・滞在型観光の促進と施設修繕等の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SNSを活用した1泊滞在促進策の一つとして、インフルエンサーの活用や中京圏・関西圏向けの発信を通じた滞在型観光への誘導をさらに強化する方針について、今後、予算編成する中でどのように考えているのか。 ○ 市内宿泊施設の老朽化による安全面への不安などが滞在者増加の支障にならないよう、民宿リニューアル補助事業などの支援制度の拡充が必要と考えるが見解は。 ○ 移動手段の整備による滞在促進について、今後どのような対応を取る必要があるのか。 <p>2 大野市文化会館の廃止方針・長寿命化検討不足・市民合意について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 起債期限を理由に、大野市文化会館設置条例の廃止案と、解体実施設計費1,031万2,000円を含む補正予算案が同時に議会へ提出された。起債期限より、まずは地元説明会や市民説明会を実施し、市民合意形成が優先されるべきではないのか。 ○ 署名活動や陳情提出などは、市民の文化会館の存続への希望や機能の確保への不安の表れであると捉える。耐震補強・長寿命化の実施設計を検討してはどうかと考えるがその見解は。 ○ 補正予算案・廃止条例案が可決された場合、解体スケジュールについて伺う。併せて解体されるのであれば、現文化会館の同等の機能を有する施設の確保については、どのように考えているのか。 ○ 跡地活用については、民間事業者の誘致を検討しているとのことであるが、民間による公募に応募者がなかった場合、更地のみが残る状態となり得る。応募者がなかった場合の対策は検討しているのか。 ○ 文化会館が閉館した場合、学校教育活動にどのような影響が生じるのか。児童・生徒への教育的損失を教育委員会の立場から総合的に検証を行ったのか。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／ 2日 (火)	白崎 (市政会)	一括質問・答弁方式	<p>1 認可地縁団体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定の地域の住民が地域社会の維持・形成を目的として自主的に組織する地縁団体について、市長の認可を受けた「認可地縁団体」は市内にどれくらいあるのか。 ○ 認可地縁団体になることについて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。 ○ 認可地縁団体の認可の申請に当たっての相談には応じているのか。 ○ 認可地縁団体となった際の税金関係はどのようになるのか。減免制度はあるが、どのようなケースで減額、免除となるのか。 <p>2 パブリックコメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市では、市民の市政参画を促進し、より公正で透明性の高い開かれた市政の推進を図ることを目的として、パブリックコメント手続きを実施しているが、市民から寄せられる意見の平均的な件数はどれくらいか。 ○ 意見等の提出方法は、実施機関が指定する場所への書面の提出、郵便、ファクシミリ、電子メール、実施機関が必要と認める方法となっているが、電子申請などでの提出はできないのか。 ○ 計画等のパブリックコメントを募集する際、計画案ができる前の途中経過でパブリックコメントを募集することはできないのか。 <p>3 越前おおの結ステーション駐車場の有料化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 駐車場の有料化に向けた試験運用で得られた成果について、どのように捉えているのか。 ○ 有料化に伴う年間の収入をどれくらい見積もっているのか。 ○ 有料化に伴い、駐車料金の負担など、周辺事業者が独自に行っているサービスはあるのか。 ○ 議案第138号 指定管理者の指定については、駐車場も含まれているが、駐車料金は指定管理者の収入となるのか。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／ 2日 (火)	高岡 (もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長重点施策である人口減少・少子化対策の現状と検証は。 ○ 住み続けたいまち構想の現状は。 ○ 行財政改革の進捗(しんちょく)と現状は。 ○ 市長肝いりカーボンニュートラルの現状と成果(削減量)は。 ○ 公共施設再編計画の現状と今後の市長の考えは。 ○ 指定管理者制度を行うメリットは。 ○ 市長のガバナンスについて。

令和7年12月 第447回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／ 2日 (火)	山崎 (清風会)	一括質問・答弁方式	<p>1 文化会館の代替施設について</p> <p>○ 令和8年「20歳のつどい」が結とぴあで開催予定と聞き及んでいるが、令和7年の開催状況(会場設営、音響状態)を踏まえ、どのように考えているのか。</p> <p>○ 今定例会に、補正予算において文化会館管理運営経費、さらに議案第133号大野市文化会館設置条例を廃止する条例案が提出されているが、何処が代替施設になるのか詳しく伺う。また、それぞれの関係団体から他の施設の利用確保について、どのような意見が市に届いているのか。</p> <p>○ 今定例会に陳情6号が提出されているが、このような予算・条例議案の提出に当たり、市民(特に地域住民)、関係団体に理解を得るような配慮や説明はなされてきたのか。</p>